

2022年6月13日発行

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙

神奈川イグレンニュース〈第229号〉

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）

発行責任者：専務理事 芝 忠 編集：事務局長 愛賢司

〒231-0015 横浜市中区尾上町580 神奈川中小企業センタービル7F

TEL/FAX045-228-7331 <http://www.kanagawa-igren.com>

（目 次）

- 【川崎異業種研究会通信】4月定例会 (1頁)
- 第57回海老名サロン開催案内 7月5日（火）15時より (2頁)
 - 1. 「日本の働き方はどうか変わるか？」
YUVEC(特定非営利法人)理事長 山川 隆 氏
 - 2. 「インフラに依存しないトイレの開発」
～災害時に止まらないトイレで世界に貢献したい～
水再生利用コンセプト確立 日本大学工学部
固液分離コンセプト策定 e6s
報告 (株)ハーバーエンタープライズ
代表取締役 川口郁雄 氏
- 第93回西湘サロン開催案内 7月11日（月）18時30分より (3頁)
「私が歩んできたさまざまな国の教育との葛藤
～切っても切れない絵画との人生～」
油絵画家 絵画講師 水沼洋華 (RYONA) 氏
- 第84回アジアビジネス探索セミナーのご案内 7月22日（金）18:00より (4頁)
 - 1 インドを活用したソフトウェア開発、デザイン開発
— 広がる世界の開発空間と効果的な活用方法 —
(株)KNOWABLE 社長 松原 清 氏
 - 2 ビジネス体験報告
インドビジネス7, インド人の効果的な攻略法
— 怖がらず、油断せず、フレンドリーな対応がベスト —
元富士フイルムインド ジュネラルマネジャー塩田顕太郎
- 「V字回復したソニーのDNAと未来」講演会から感じたこと (5頁)
神奈川県異業種連携協議会常務理事 愛賢司

【川崎異業種研究会通信】4月定例会

4月7日（木）、当会議所にて4月定例会を開催した。今回は「最近の地域経済状況について」と題して、川崎信用金庫お客さまサポート部調査役の竹内敏氏、並びに鳥海亮介氏による講演が行われた。

はじめに、竹内調査役より、同金庫による「中小企業景気動向調査」をもとに川崎市内の景況感について説明がなされた。地域経済は新型コロナウイルス感染症の影響下、全業種において業況の悪化が続いてきたが、2020年6月に底打ちして、第6波の流行を受けて一時悪化に転じたものの、全体的に緩やかな回復傾向に向かっている。最近の1-3月期では、不動産業が最も良く、卸売業が最も悪く、先行きについては、売上の減少、燃料・原材料の高騰による仕入価格上昇、人手不足が経営課題として多く挙げられた。

引き続き、鳥海調査役より、SDGsやカーボンゼロチャレンジ等の環境を配慮した支援はじめ、企業のM&A・事業承継等のサポートの他、大企業の知的財産を中小企業への活用を支援した事例として、菓子匠末広庵による新商品開発や吉本芸人と連携した株式会社ショウエイによる防滑工事を紹介した動画を交えながら、川崎信用金庫「お客様サポート部」を中心とする充実した経営サポート体制について紹介がなされた。

参加者は、コロナ渦が続く地元経済の最新の状況と同金庫による経営支援体制について熱心に聴き入り、講演後も活発な質疑応答が行われるなど、大変有意義な定例会となった。



（コロナ渦における最新の地域経済状況を学ぶ） （吉本芸人出演による企業支援の動画紹介）

第57回海老名サロン開催

日時 2022年7月5日(火) 午後3時より

会場 神奈川中小企業センター6階大研修室

【報告】

1. 「日本の働き方はどうかわるか？」

大学と地域を結ぶ YUVEC(特定非営利法人) 理事長 山川 隆氏

従来から問題にされ議論されてきた「日本の働き方」が、働く環境を激変させたコロナ禍の下で多くの企業で新しい取り組みが試みられています。YUVECが神奈川県と3年間協働事業として進めてきた働き方に関する研究成果をもとに、雇用の形はどの様になるのか経営側にとってのキーポイント、働く側にとってのキーポイントを示し日本の働き方の未来を皆さんと展望したいと思います。

2. 「インフラに依存しないトイレの開発」

～災害時に止まらないトイレで世界に貢献したい～

水再生利用コンセプト確立 日本大学工学部・固液分離コンセプト策定 e6s

報告 (株)ハーバーエンタープライズ

代表取締役 川口郁雄氏

上下水道インフラが整備済みの先進国においても、ライフラインが寸断される非常時には、既設の水洗トイレが使用不可となるのが問題になっています。一方、世界では3人に1人にあたる23億人がトイレの無い生活をしています。SDGsの6番目のゴールは「世界中に安全な水とトイレを」です。水洗トイレの洗浄水をその場で浄化し、洗浄水として再生利用する自立型トイレがあれば、上下水道インフラに頼らずに災害時のトイレ問題の解決につながります。

参加費(資料費等) 1,000円 交流会 4,000円

出席 ア サロン出席 イ 交流会出席 (○をご記入ください)

(ご本人以外に参加される方の氏名・所属・TEL)

愛 070-4478-1902 E-mail aikenji1024@gmail.com

地域の幅広い人材交流を目指した「神奈川新産学公交流サロン」

第 93 回西湘サロン開催のお知らせ

神奈川県異業種連携協議会（イグレン）事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7 階

【日時】：2022年7月11日（月）午後6時30分～8時00分（開場6時）

【会場】：おだわら市民交流センター UMECO

JR 小田原駅東口より徒歩約2分です。住所：小田原市栄町一丁目1番27号（駅東口駐車場1階）（TEL：0465-24-6611）

【会費】：参加費 500円（当日）



1. 話題：「私が歩んできたさまざまな国の教育との葛藤

～切っても切れない絵画との人生～」

油絵画家 絵画講師 水沼洋華（RYONA）氏

日本、中国、イタリアと3ヶ国で過ごして来た油絵画家であり、絵画講師である RYONA（リョーナ）さん。違った環境の教育での葛藤やそれを乗り越えた経験と絵画と歩んできた人生を語ります。去年のコロナ禍で、自ら絵画コミュニティを設立し、今は大人にも子どもにもアートを教えています。講演後にはぶち絵画展もごございますので、お楽しみにして下さい。

個人で参加される方は、申し込みの必要がありません。3人以上で参加される方は会場の準備の都合もありますので下記参加申込書で参加人数を教えてください。

参加申込

E-mail yoshiike@maple.ocn.ne.jp

吉池

氏名	(参加人数： 名)	所属・役職	
住所		電話番号	()
		FAX番号	()
メールアドレス			

－ 第84回アジアビジネス探索セミナーのご案内

激変するアジアを追いかけてみませんか

アジアを活用した新しい企業、日本人の生き方を探る

● アジアビジネス探索セミナー

発行人 増田 辰弘

毎月のようにアジアに出かけておりますと、気が着くのは変化が大変大きなアジア経済です。新しいビジネスの流れをゲストを招いたかたちで探索する「アジアビジネス探索セミナー」を企画いたしました。ご興味をお持ちの方はぜひご参加ください。

第84回 アジアビジネス探索セミナーのご案内

日時 2022年7月22日(金) 18:00-20:00

場所 中央区八重洲1-8-17 新槇町ビル6F

(八重洲地下街18番出口直通) 03(5542)1989

ビジネストランスファー会議室 (東京駅八重洲北口徒歩1分)

1 インドを活用したソフトウェア開発、デザイン開発

－ 広がる世界の開発空間と効果的な活用方法 －

(株)KNOWABLE 社長 松原 清

コメント

ジェネシス(株) 社長 西山 征夫

2 ビジネス体験報告

インドビジネス7, インド人の効果的な攻略法

－ 怖がらず、油断せず、フレンドリーな対応がベスト －

元富士フイルムインド ジュネラルマネジャー 塩田 顕太郎

コメント クリエティクジャパン(合)代表 ラノジット ティルタジー
工学博士

3 会費 3,000円

(当日、受付でお支払ください。)

※ お申し込み/お問い合わせ先

氏名とさしつかえなければ、所属先、部署・役職、ご連絡先を明記の上、メールあるいはFAXで事務局までお申込ください。事前の申込をお願いいたします。

※ ◇◇7/22(金)18:00～ 「アジアビジネス探索セミナー」参加申込書

氏名:

会社名:

部署/役職:

TEL: e-mail:

※ 送付先・ アジアビジネス探索セミナー事務局

090-4124-2496

FAX 03(3659)7077


e-mail. i-daruma@igarashireport.com

「V字回復したソニーのDNAと未来」講演会から感じたこと

盛田昭夫「日本型経営が危ない」と「経済＝経世済民」の再認識

神奈川県異業種連携協議会常務理事 愛賢司

先月末（5月31日）のイグレン主催講演会「V字回復したソニーのDNAと未来」（講師株式会社ワンダーワークス代表取締役田村慎吾氏）は、約40名の参加者を迎えて活発な質疑が行なわれ、久々に盛況な雰囲気で開催することができました。




澁澤栄一

「道徳経済合一説」

“道徳なき科学経済（金欲）は、
国家間の争いを招く”

~~経済and道徳、~~ **経済＝道徳**
(株主金融) (経世済民)



二宮金次郎

「道徳なき経済は獣であり、
経済なき道徳は寝言である」

グローバル・ローカライゼーション

変動為替注意
マネーゲームの蔓延
低賃金国への工場移転
経済の空洞化

経営は現地人
現地熟練の育成
品質の経済



前頁の二つの図は、講演の中でソニーの経営理念の在り方の例として紹介されたものです。これらを観た時、今から30年前にソニー会長で経団連副会長だった盛田昭夫氏が、「日本型経営が危ない」という刺激的なタイトルで『文芸春秋』（1992年2月号）に寄稿した論文を思い出しました。その中で盛田氏は、資源・エネルギーや環境汚染問題が「人類共通の問題として浮上しています。世界がいま、力を合わせて真剣にこれらの問題に取り組まなければ、取り返しのつかないことになる」という問題意識を提示し「欧米から見れば異質な経営理念をもって世界市場で競争を続けることは、もはや許されない」ところまできている「日本型経営」の問題・課題として次の六点を指摘しています。

1. 「生活に豊かさゆとりが得られるように、十分な休暇をとり、労働時間を短縮」—長時間労働の解消・ディーセントワークへの取り組み。
2. 「現在の給与は、企業の運営を担うすべての人たちが真の豊かさを実感できるレベルにあるのか」—低賃金構造の改善
3. 「株主配当」の向上
4. 「資材・部品の購入価格、納期の面で取引先に不満を持たせている」
—下請け取引関係における不公正の是正
5. 「コミュニティの抱える諸問題を、企業が共に分かち合う覚悟が不足」
—社会貢献・社会的責任への積極的な取り組み
6. 「環境、資源、エネルギーが人類共通の財産であることへの認識不足」

30年後の現在、盛田氏が提起した課題で顕著に改善されたのは、3の「株主配当」の向上だけだというのは言い過ぎかもしれませんが、日本の経済・産業社会の問題は、むしろ低迷・後退している面が目立ちます。

この30年間の日本の経済・産業システムの流れで最も大きかった変化は、「株主資本主義」を柱にした「新自由主義経済」の推進・拡大ではないでしょうか。男女賃金格差と非正規雇用拡大を背景とした低賃金構造の定着、内部留保の巨額の蓄積と設備投資の停滞、コロナ禍の下での医療・介護現場の疲弊、安易な国際化による必需品不足、ウクライナ問題で露呈した食糧自給とエネルギー自給の脆弱性、長期にわたる異次元の金融緩和策による円安誘導と物価高騰等々。

「新自由主義」・「株主資本主義」による極端な格差や環境問題の危機的状況に、欧米資本主義諸国で反省と新しい道筋への転換が試みられています。「株主重視」から「従業員」、「取引相手」、「地域住民」、「株主」、「経営者」等を均等に重視する「ステークホルダー資本主義」です。

盛田氏は、日本企業に根強く存在する問題の「根本的な変革」は、一部の企業のみでの取り組みで解決されるものではなく、日本の経済・社会のシステム全体を変えていくことによつてのみ実現し得るという展望を提起しています。

二宮尊徳が主唱した「道徳なき経済は獣であり、経済なき道徳は寝言である」は、個々の企業の経営理念にとどまらず、「経済＝経世済民」が示すように、時の為政者の政治・政策の姿勢が民に寄り添うものになっているか否かを問うている思想であると改めて感じた次第です。

平成の30年間は、日本の企業力凋落の30年？

平成元年

順位	企業名	時価総額 (億ドル)	国名
1	NTT	1,638.6	日本
2	日本興業銀行	715.9	日本
3	住友銀行	695.9	日本
4	富士銀行	670.8	日本
5	第一勧業銀行	660.9	日本
6	IBM	646.5	米国
7	三菱銀行	592.7	日本
8	エクソン	549.2	米国
9	東京電力	544.6	日本
10	ロイヤル・ダッチ・シェル	543.6	英国
11	トヨタ自動車	541.7	日本
12	GE	493.6	米国
13	三和銀行	492.9	日本
14	野村證券	444.4	日本
15	新日本製鐵	414.8	日本
16	AT&T	381.2	米国
17	日立製作所	358.2	日本
18	松下電器	357.0	日本
19	フィリップ・モリス	321.4	米国
20	東芝	309.1	日本

平成30年

順位	企業名	時価総額 (億ドル)	国名
1	アップル	9,409.5	米国
2	アマゾン・ドット・コム	8,800.6	米国
3	アルファベット	8,336.6	米国
4	マイクロソフト	8,158.4	米国
5	フェイスブック	6,092.5	米国
6	パークシャー・ハサウェイ	4,925.0	米国
7	アリババグループ・ホールディング	4,795.8	中国
8	テンセント・ホールディングス	4,557.3	中国
9	JPモルガン・チェース	3,740.0	米国
10	エクソン・モービル	3,446.5	米国
11	ジョンソン・エンド・ジョンソン	3,375.5	米国
12	ピザ	3,143.8	米国
13	バンク・オブ・アメリカ	3,016.8	米国
14	ロイヤル・ダッチ・シェル	2,899.7	英国
15	中国工商銀行	2,870.7	中国
16	サムスン電子	2,842.8	韓国
17	ウェルズ・ファーゴ	2,735.4	米国
18	ウォルマート	2,598.5	米国
19	中国建設銀行	2,502.8	中国
20	ネスレ	2,455.2	スイス

本文章は、筆者が講演を聞いて勝手に感じたことであり、講演内容とは直接的な関係はありません。30年前に神奈川県で中小企業に関わる仕事をし、中小企業問題や中小企業政策に関心を持っていた頃に盛田論文を目にし、日本の財界のリーダーの発言として感銘を受け、日本経済の健全な発展をひそかに期待していたことが、今回の講演で鮮明に思い出されたので記したものです。